



校訓

至誠 順化 剛健

令和8年度 福井市順化小学校スクールプラン

学校教育目標

つながり合い、ひとりひとり輝く子の育成

めざす児童像

なかよく助け合う子 すすんで学ぶ子 明るく元気な子

研究主題

「対話を通して学び合う授業づくり」

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

保護者・地域・教職員の強み

- ・県・市の中心部に立地し、歴史と伝統のある学校である。
- ・福井城址等の史跡に隣接し、学習に集中できる環境である。
- ・家庭、地域の学校教育活動への関心が高く、協力的である。
- ・教職員間の雰囲気良く、お互いが気軽に相談できる。

保護者・地域・教職員の願い

- ・社会をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- ・将来に夢や希望をもつ子になってほしい。
- ・思いやりや助け合いの心をもって行動できる子になってほしい。
- ・地域に誇りと愛着をもち、貢献できる子になってほしい。

豊かな心の育成

なかよく助け合う子

居場所づくり・絆づくり

◎温かい人間関係のある集団づくり

- ・互いのよさを認め合える集団づくり
(異学年交流の充実、認めめのばす教育)
- ・いじめを見過ごさない生徒指導
(毎月の心のアンケート、個別面談、SCの活用)
- ・支援体制づくり(チーム、個別対応)
(児童理解の充実とインクルーシブ教育の推進)
- ・自己肯定感や自己有用感の涵養

キャリア教育の充実と推進

◎地域・郷土への誇りの構築

- ・「ふるさと未来デザイン事業」の推進
- ・キャリア教育プログラムの活用
- ・「未来探検in順化」の推進(PTA連携)
- ・地域と連携した活動の充実(地域連携)

- ・学校が楽しい子 93%以上
- ・郷土福井を大切にしたい子 95%以上
- ・将来の夢や目標をもつ子 90%以上

確かな学力の育成

すすんで学ぶ子

わかる授業づくり

◎主体的・対話的で深い学びの実現

- ・思考を深める学習課題の工夫
- ・学び合いの場の設定と言語活動の充実
- ・具体物の利用や体験活動の重視
- ◎基礎・基本の定着
- ・学びのルール「聞く・話す」の定着
- ・基礎学力の定着(ステップアップタイムの活用)
- ・読書活動の充実(読書タイムの実施等)
- ・「家庭学習の手引き」の活用

ICTの活用

◎1人1台端末の合理的な活用

◎情報モラル教育の推進

◎教職員の自己研鑽と協働体制

- ・校内研修の充実・研修会への積極的参加

- ・授業に進んで取り組む子 90%以上
- ・自分の考えを積極的に話す子 85%以上
- ・読書の習慣がある子 80%以上
- ・一人一人に応じた授業づくり 95%以上

健やかな心と身体の育成

明るく元気な子

心づくり・体づくり

◎人権教育を含めた道徳教育の充実

- ・人権月間 全校道徳
- ◎自己の体力向上
- ・運動意欲を高める場の設定と工夫
- ・ランランタイムの継続・推進
- ・運動習慣の構築
- ◎望ましい生活習慣の確立
- ・児童主体のあいさつ運動の推進
- ・健康教育(学校保健委員会・歯みがき指導)
- ・食育指導の推進(各学年1回以上)
- ・早寝・早起き・朝ごはんの推進
- ・情報リテラシー教育の推進

- ・道徳の授業で考えを深める子 90%以上
- ・健康な体づくりや生活習慣を意識した児童の割合 90%以上
- ・あいさつができる子 95%以上
- ・う歯治療率 100%

信頼される学校づくり

家庭・地域や中学校区との連携

◎地域を活用した学習・行事の工夫

- ・地域の資源や人材の積極的な活用
- ・地域コーディネーターとの連携
- ・教科領域横断的な学びの工夫

◎家庭・地域との協働体制の構築

- ・各種関係団体との協働事業の推進
- ・「白鳥憩話会」の開催
- ・情報発信による子どもの成長の共有
(学校公開、学校学年だより、順化小HP)

◎園小中の相互理解の推進

- ・学校は体験的な学習を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めていると考える保護者 90%以上
- ・学校は教育方針や教育内容を適切に伝えていていると考える保護者 90%以上
- ・校内や地域の人材を活用した教職員 90%以上

業務改善の取組

業務推進週間の活用、Tetoru及びC4thの活用、勤怠管理システムの活用、FEnetの活用、校務分掌のシステム化、終礼週1回、学校運営支援員の活用、ノー残業デー遵守